

日本教育大学院大学学校教育研究科学学校教育専攻
検証結果

平成24年3月29日

教員養成評価機構

I 検証結果

日本教育大学院大学（学校教育研究科学校教育専攻）について、平成 23 年 3 月 29 日、教員養成評価機構は、学校教育系専門職大学院評価基準に適合していると認定した。ただし、次の事項については、改善を促し、「教職大学院等の認証評価に関する規程」第 22 条に定める変更事項の届出を平成 23 年 6 月 30 日までに求めるものとした。

- 1 平成 20 年度から受け入れている学部新卒学生のための教育課程の編成及び教員の配置、授業内容、授業方法・形態。
- 2 語学学習、理科実験に関する施設・設備の教育活動等における有効活用。

期限内に提出された変更事項等報告書及び関連する資料・データについて検討するとともに、平成 23 年 10 月 4 日に日本教育大学院大学を訪問し、学長・関係教員との面談を行った。

その結果、変更事項 2 点について、以下のように検証した。

1 平成 20 年度から受け入れている学部新卒学生のための教育課程の編成及び教員の配置、授業内容、授業方法・形態

平成 20 年度から受け入れている学部新卒学生に関して、学則、履修規程等を変更し、選択必修科目を設けることで教育効果の改善を図ろうとし、さらに選択必修という形式ではなく学生の自主的な選択を尊重した履修指導に重点を移すなどの取り組みを行ってきた。

また、平成 22 年 9 月に学長を責任者とする「将来構想プロジェクト」を設置し、将来像に関する総合的な検討を行っているが、学部新卒学生に対する今後の対応の方向性が同プロジェクトにおける検討事項の一つとなっている。そこでは、輩出すべき人材像を前提に検討しており、社会人経験のある教員が持つ「強み」を定義し、その「強み」を全修了生が保持している状況を目指した教育課程の編成が必要であるという点で一致をみている。

これらを踏まえ、学部新卒学生のための教育課程について、教授会・教学評議会での議論を経て、最終的に大学運営理事会において、基本方針として、①学部新卒学生に対して、社会人経験の不足を補うための授業を正規の授業として設置すること、②同授業は学部新卒学生においては必修とすること、③同授業は平成 25 年度設置の予定であること等を決定している。

以上確認することができ、大学の将来像に基づく新カリキュラムの導入（平成 25 年度から）等によって、学部新卒学生のための教育課程の編成を含め教員養成機能の充実が期待できると判断した。

2 語学学習、理科実験に関する施設・設備の教育活動等における有効活用

語学学習に関して、教授会において、必修授業である「英語科教育研究法」について麹町学園女子中学・高等学校の施設・設備を活用した授業を平成 24 年度から実施することを決定している。また、平成 24 年度に担当教員による「語学学習施設の利用に関する報告書」を作成すること、学生からのヒアリング・アンケート調査等を行うことにより、次年度以降の施設の有効活用について再検討し、改善を図っていくことを予定している。

理科実験に関して、平成 22 年度より二つの授業科目で栄光サイエンスラボ高田馬場校の実験室を利用しており、また理科実験等の備品等について予算措置を講じ、今後も引き続き同校実験室を利用するとしている。

以上確認することができ、今後、語学学習、理科実験に関する施設・設備の有効活用が期待できると判断した。

II 検証結果についての説明

日本教育大学院大学（学校教育研究科学校教育専攻）の検証について、その結果を I のとおり報告します。

教員養成評価機構では日本教育大学院大学が作成した変更事項等報告を基に書面調査及び訪問調

査を行い、検証結果を作成しました。

検証は、機構の評価委員会の下にある評価専門部会の評価員4名が担当しました。評価員は、教職大学院等を有する大学の関係者、それ以外の大学の教育関係者、有識者で構成されています。

書面調査は、平成23年6月30日に受理した「学校教育系専門職大学院認証評価に係る変更事項等報告書」及び「添付資料一覧：1 入学資格の変更に関する資料（平成19年5月1日）ほか全4点、訪問調査時追加資料：5 将来構想プロジェクト資料ほか全6点」をもとに調査・分析しました。各評価員から主査（日本教育大学院大学検証担当）に集められ、調査・分析結果を整理し、平成23年9月14日、日本教育大学院大学に対し、訪問調査時における追加提出書類・閲覧書類に関する連絡をしました。

平成23年10月4日、評価員4名が日本教育大学院大学の訪問調査を行いました。

訪問調査では、教職大学院等関係者（責任者）及び教員との面談（1時間）、関連資料の閲覧などを実施しました。

書面調査と訪問調査に基づき、各評価員から主査に調査・分析結果の最終報告が集められ、主査が検証結果を取りまとめた後、評価員全員で確認し、平成23年12月14日開催の評価専門部会において審議し「検証結果原案」としました。

「検証結果原案」は、平成24年1月19日開催の第2回評価委員会に諮り審議し、「検証結果案」としました。「検証結果案」を、日本教育大学院大学に示し、意見申立の手続きを経たのち、平成24年3月8日開催の第3回評価委員会で審議し、最終的な検証結果を決定いたしました。

以上

添付資料一覧

- 1 入学資格の変更に関する資料（平成 19 年 5 月 1 日）
- 2 将来構想プロジェクトに関する資料
- 3 教授会・教学評議会・大学経営理事会の会議等資料
- 4 栄光サイエンスラボの概要がわかる資料（パンフレット）

〔追加資料〕

- 5 将来構想プロジェクト資料
- 6 ミッション及び3つのポリシー
- 7 新版カリキュラム案
- 8 栄光サイエンスラボ高田馬場実験室の利用状況
- 9 施設・設備に関する覚書（麴町学園）
- 10 麴町学園女子中学校・高等学校の概観及び施設